

折りたたみワークデスク (SH-DESK900シリーズ)

取付前に必ずお読みください

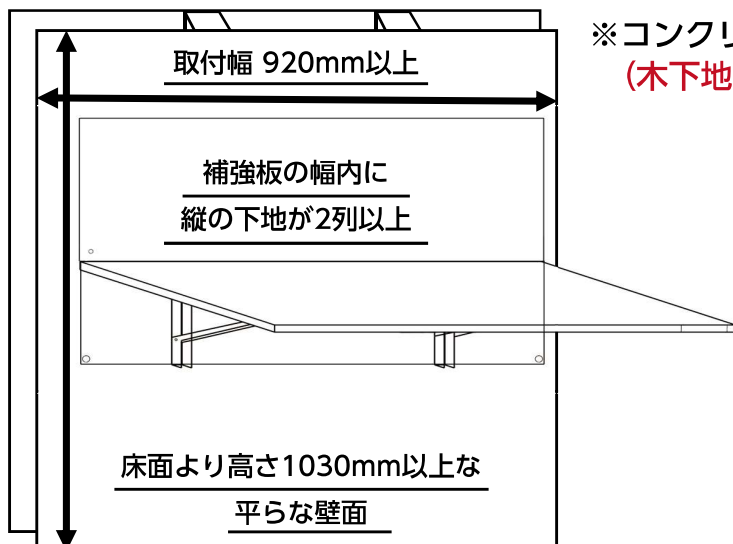
部品構成表

部品一覧表



補強板：1 枚	サイズ：914x245mm 厚み：2 mm
化粧鉄板（スポンジ付）：1 枚	サイズ：914x280mm 厚み：0.8 mm
棚板：1 枚（折りたたみ金具取付け済）	サイズ：900x410mm 厚み：18mm
ダンパー（大）：1 個（受け金具付）	●補強板に受け金具を取付け後、棚板裏面の止め金具へ固定する部品です。
ボードアンカー 12mm 用：7 個（赤ピン：1 本付属）	●補強板を壁面に取付ける際に使用致します。 ※余る場合あり ※界壁(2重ボード) の場合は使用できません。 別途オプションの 2重ボード用アンカー が必要です。
①…皿タッピングビス (M4×40 mm)：7 本	●補強板を壁面に取付ける際に使用致します。 ※全て使用 ※補強板上部 5 箇所 はユニクロメッキの①皿タッピングビスを使用 下部 2 箇所 は補強板と同色の①皿タッピングビスを使用
②…ナベタッピングビス (M4×40 mm)：6 本	●補強板を壁面に取付ける際に使用致します。 ※余る場合あり
③…低頭ネジ (M4×6 mm)：4 本（予備 1 本含）	●化粧鉄板を補強板に取付ける際に使用致します。 ※1 本予備
④…トラスネジ (M4×6 mm)：8 本	●折りたたみ金具、ダンパー（大）受け金具を取付ける際に使用致します。 ※全て使用
補強板位置決め用 型紙：1 枚	●補強板の取付位置を決める際に使用致します。

取付け条件



※コンクリート面には設置出来ません
(木下地、軽量鉄骨下地に施工)

施工動画
QR コード



説明書に沿った
施工の手順を
動画でご視聴できます

施工説明書



【重要】取付前に必ずご確認ください

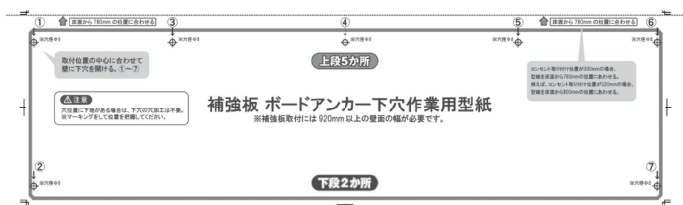
- ①920巾以下には取付できません（補強板の巾：914mm）
- ②壁面の取付箇所の下地が2列以上あるか、必ず事前に下地チェッカーでご確認願います。
- ③コンセント付近に設置する場合、配線に干渉しないか下地チェッカーで必ず診断してください。
確認した下地位置は補強板の下地ビス打ち時に必要です。壁にテープ等で印をつけてください。
下地がある箇所については、出来る限り下地にビス打ちを行ってください。

施工手順

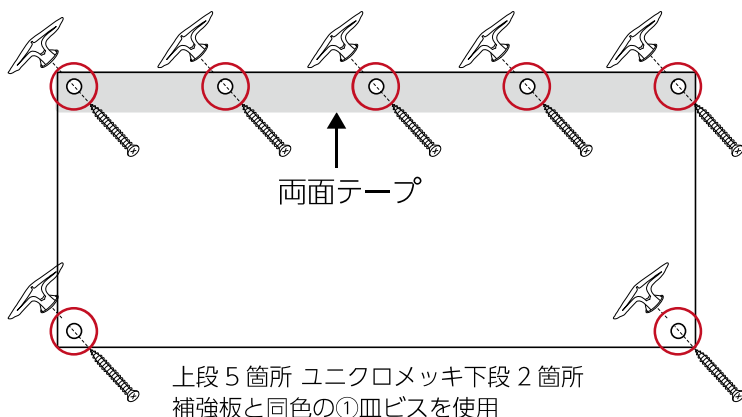
★ 星マーク部は施工時のポイントです。ご注意ください。

1 壁面にボードアンカーを使用し補強板を取り付ける

型紙の取付高さは原則床面から **780mm** の位置に設定してください。※補強板上部は床から 765mm 位置



※コンセントカバー上部が床から **300mm より高い**場合は、その分補強板の取付け位置を高く設定してください。
※型紙の取付け高さが床から 780mm の場合
天板高さは床から 700mm ~ 710mm となります。



★ 下地にあたる場合はボードアンカーは使用しません。直接①皿ビスを打ってください。

- (1) 型紙を水平になるよう取付位置にあて、壁に7箇所印を付けます（赤丸部分）
- (2) 印を付けた位置に下穴（Φ8）をあけて、ボードアンカーを打ち込みます
※上段5か所、下段2か所
- (3) ボードアンカーへ**ビス打ちの前**に、補強板裏面の両面テープ（青枠部分）剥離紙を剥がし下穴箇所と合うように仮貼り後、ボードアンカーへ①皿ビスを打ちます。
（下段2箇所は補強板と同色のビスを使用）

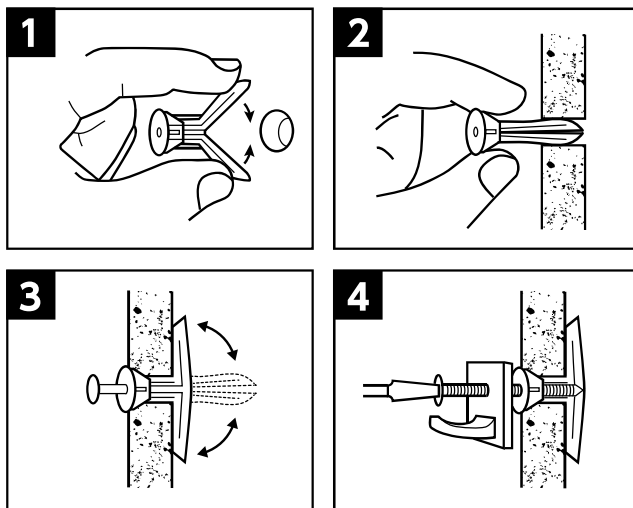
トグラボードアンカーの使用法

※壁の厚みが 12.5 mm 以上に設置時は、界壁用ボードアンカーをご使用ください

- (1) 8mm の下穴を開け、ボードアンカーの脚を折りたたみます。
- (2) そのまま壁の表面まで差込みます。
入りにくい場合はハンマーで軽くたたいてください。
- (3) 付属の赤ピンを差し込んで脚を開きます。ハンマーで軽く叩きこみ赤ピンの段差位置にボードアンカーが入れば足が開いた状態です。

※壁厚が 12.5 mm 以上ある場合は、**2重ボード用アンカー**をご使用ください

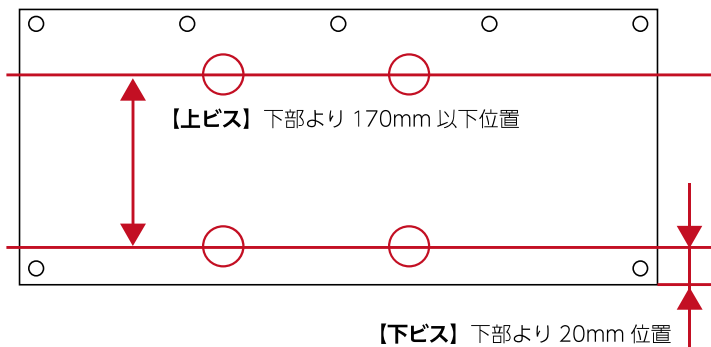
- (4) 赤ピンを取り外し付属ビスで固定してください。



※12mm 用トグラ使用時の補足資料です。

施工説明書

2 補強版をナベタッピンビスを使用し下地位置へビス打ち

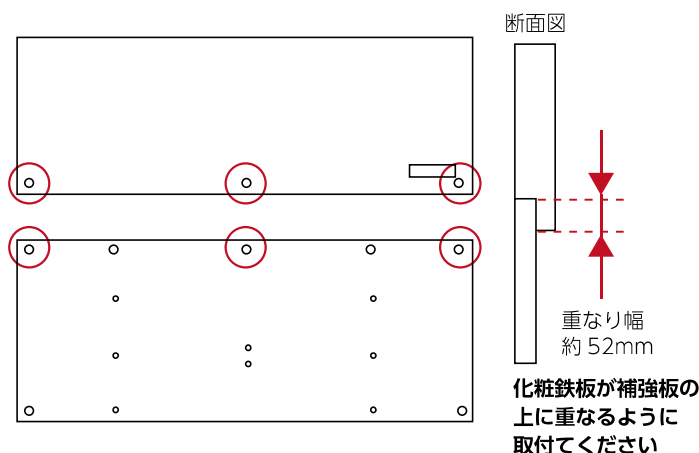


- (1) 下地位置を確認したら【上ビス】2箇所【下ビス】2箇所の計4箇所をマスキングテープで印を付けます。(例：赤丸部分)
- (2) 印箇所へΦ4.0～4.2で補強板に対して下穴をあけます。
- (3) 下穴4箇所に②ナベタッピンビスを打ちます。

※施工手順 1-1 で下地にビス打ちがあっても必ずプラス4箇所ビスを打ち込んでください。

★ 棚板付近（下部より 170 mm）にビス打ちすると棚板とビスが接触し干渉する恐れがあります。

3 化粧鉄板を低頭ネジを使用し壁面へ取付（3か所）

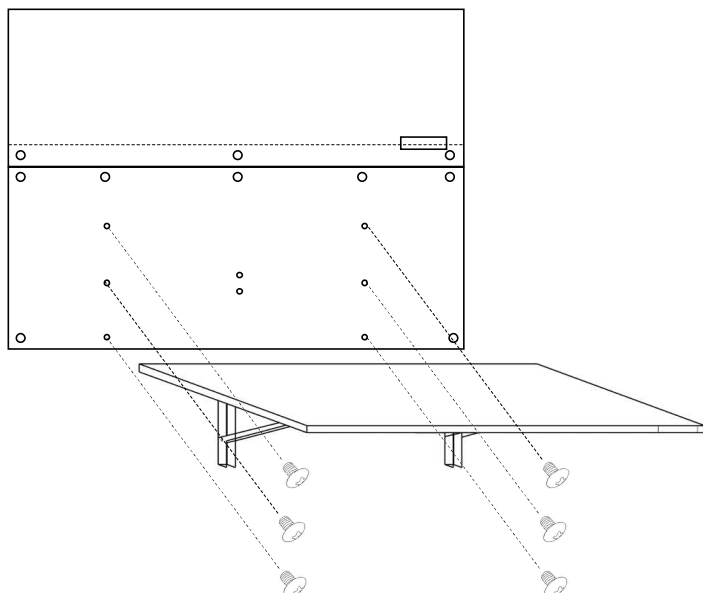


- (1) 化粧鉄板裏面スポンジの剥離紙を剥がし、壁面に貼り付けないよう補強板の上から化粧鉄板を合わせます。(赤枠の穴が合うように合わせてください。)
- (2) ③低頭ネジ3本で軽くネジ止め後、スポンジ部分を均等に加圧し、低頭ネジの本締めをします。



★ 取付時はスポンジ部分を加圧する前に化粧鉄板の中央部の穴と補強板の中央部の穴をあわせてネジ止めしてください。

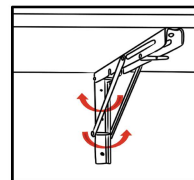
4 棚板をトラスネジを使用し補強版に取付（6か所）



- (1) 棚板についている折りたたみ金具を補強板の穴位置に合わせます。
- (2) 左右 各3箇所の計6箇所に④トラスネジで仮締めをします。
- (3) 棚板を昇降させ、硬さ、異音、擦れが無いか確認します。
- (4) スムーズな昇降が可能な位置を特定し、折りたたみ金具が左右に動かないよう固定しながら本締めをお願い致します。

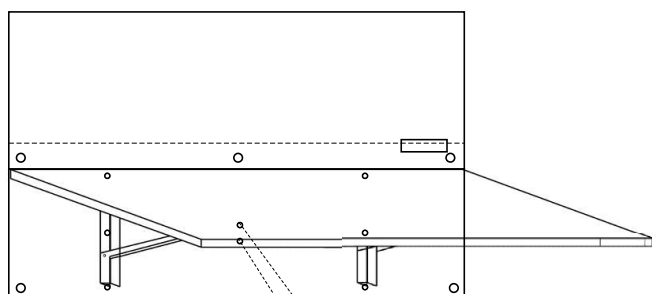
※補強板のネジ穴と折りたたみ金具のネジ止め穴は、棚板の水平調整含めクリアランス設けています

【折りたたみ金具の取付調整】
棚板の昇降で硬かったり・音鳴りする場合、本締めする前にネジ3本の位置調整し取付ください



施工説明書

5 ダンパー（大）をトラスネジを使用し棚板に取付（2カ所）



(1) 補強板にダンパー（大）を④トラスネジでネジ止めください。

(2) 棚板に付いている受け金具にダンパー先端の端子を受け金具ネジで固定してください。

※ダンパー（大）に受け金具ネジをテープ止めしています。

★ ダンパー（大）先端の端子と受け金具のネジ穴位置があわない場合、端子を回す事で長さ調整が出来ます。（緩めすぎると先端が外れます。）

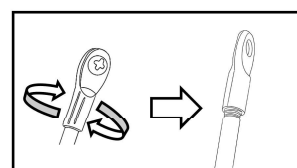
補強板側
受け金具取付向きに注意！

注意！



棚板側
ダンパー取付向きに注意！

注意！



6 最終チェック

(1) 棚板を折りたたむ時に、ダンパー（大）の昇降効果（スローダウン）を確認してください。

(2) 棚板と補強板の両端の著しい隙間がないか確認してください。

(3) 化粧鉄板と補強板は、隙間なくしっかり固定されているか確認してください。

※化粧鉄板は汚れたり変形した際、交換パーツとして取り換え可能です（有償部品）



完成写真

毎度お買上げありがとうございます。
製品についてのお問合せは、
当社「お問合せ窓口」までご連絡ください。



SHOWA

昭和有機株式会社

【補修・交換部品について】

- 棚板 ■ 化粧鉄板 ■ ダンパー（大） ダンパー（小）
- 折りたたみ金具(左右) ■ 上記部品取り扱い可能です(有償)

〒104-0032

東京都中央区八丁堀 1-9-8 八重洲通ハタビル 7F

TEL 03-6866-0375 FAX 03-6866-0370

<https://www.showayuki-hd.co.jp/>